



## あきらめないをリレー

新しい元号が発表されました。これから「令和」という新しい時代を生きていくみなさんが、自らの道を切り開いていく力を身につけられるよう、私たちも新たな気持ちで取り組んでいきます。新元号が施行される5月1日は祝日となりますが、この塾は通常通りの授業を行います。もちろん都合で休む場合は振替ができます。

さて、昨年4月に新中3とその保護者の方向けに開いた入試説明会の時に理科の開示得点で100点を取った女子の塾生がいたことをお話ししました。開示得点とは自己採点ではなく、受験した高校で正式に採点された結果を受験者本人に入学式前までの期間だけ教えてくれるものです。彼女はもともと決して理科が得意だった訳ではなく、前期入試で惜しくも合格できなかったのです。でもそこからの集中力が凄かった。あきらめることなく、もう一度同じ志望校に挑み、見事合格しました。そして今年、それに続くことが起きたのです。同じ高校を受けた中3女子が、同じように後期の入試で今度は社会で99点を取りました。記述問題で言葉が足りずに1点減点されたようで、実質的には100点と変わりません。一口に100点といっても小学校のプリントや中学の定期テストとは範囲が違います。中学3年間で学ぶことすべてから出題されます。「こんなこと習ったっけ?」「覚えている気がするけど問題を前にすると解けないな!」ということがヤマのようにあります。教えている私たちにしてもいきなり入試問題を解けと言われたら100点を取る自信はありません。それでもあきらめずに学習すれば、理社は最後の最後まで伸ばせる科目だということが実証されたと思います。

前期不合格の現実を突きつけられると、誰もが後期の入試は不安になります。そこでたまたま英検の対策に来ていた高校1年のその先輩に「同じ高校を受けるのだから」とアドバイスを頼みました。それが役立ったかどうかはわかりませんが、合格発表の後でその彼女が自分のことのように後輩の合格を喜んでいたのが印象的でした。「あきらめない気持ち」は後輩にもリレーされた実感!